



本格的に拠点を北広島町に移し、練習に励むどんぐり北広島の選手

(山崎雄一)

## 「どんぐり」北広島で本格始動 ソフトテニス女子

ソフトテニス女子のクラブチーム「どんぐり北広島」が発足から1年を迎えた。3月末までに全8選手とスタッフが練習拠点の広島県北広島町に移住して就職。「ここが正式な出発」と中本裕一監督。地域密着を掲げ、本格的に動き出した。

選手はホテルや町の運動施設を管理する財団などで働き、夕方から豊平総合運動公園で練習する。広島市内の練習場を転々としていた3月までとは違い、テニスコートは年間契約。移動時間も短く、雨天時には体育館を使えるなど集中できる状況が整った。

昨春、会社の業績や景気などに左右されない環境を求めてNTT西日本広島から移った。発足1年目で団体戦の全日本クラブ選手権で優勝。だが、全日本選手権など日本リーグチームが出場する大会の個人タイトルは逃した。小林美咲は「甘えてはいけない環境。結果を出さないといけない」と引き締める。一部の町民は3月の引っ越しを手伝い、収穫した野菜やお米などを提供。移動に使う車を差し出す支援者もいた。「地域には感謝しかない。タイトルで恩返しをしたい」と榎本有花主将。地域の支えも力に、新たな1年に挑む。

平成 28 年 4 月 8 日 (金) 中国新聞